

第64回理事会・第33回評議員会 報告書

財団法人おかやま環境ネットワーク

○日時：2012年2月25日（土）10：00～12：00

○出席：理事会=15名（内委任5名）、評議員会=13名（内委任2名）、監事=1名

○議長：理事会=青山、評議員会=奥田 ○議事録署名人：理事会=榊、安場、評議員会=田中敦子、田中照周

〔報告事項〕

1. 事業報告など以下の報告がありました。

- ①. 運営委員会では、2012年度事業計画や公益法人制度対応等について検討をすすめました。環境講座は、市民により良い情報を発信できるようテーマ設定します。体験プログラムは、協働事業を中心とした他団体との協働企画を模索し、ネットワークのつどいは、ネットワーク機能や交流強化を目的に開催することなどを確認しました。
- ②. 評議員選定委員会報告：1月18日に評議員選定委員会規則に則り開催し、候補者14名全員を、移行後の最初の評議員として選任することを出席委員全員一致で決議しました。
- ③. 第三回おかやま環境シンポジウム報告：今回は「山と海をつなぐ川の役割」をテーマに、県内の様々な関係者とのネットワークをつくり、情報交換、交流をすすめる機会確保を目的に開催し、50名が参加されました。

2. 決算・会費納入状況についての報告がありました。

1月度末決算状況として、当期収入は予算比115.1%、前年比105.4%となり、これは各事業への参加者やエコポイント寄附が想定より多かったことなどによるものです。当期支出は予算比103.4%、前年比129.1%となっています。新規事業の実施や事業参加者が想定以上あったことなどが主な要因です。当期収支差額は▲767,360円(予算比59.8%)と予算内となっています。当年度予算は、助成活動報告集の出版経費分等の赤字予算としています。

1月末会費納入状況は、個人110（前年同期：99会員）、団体46（同：51）、法人50（同：58）、合計206会員（同：208）となっています。今年度に入り個人25、団体2、法人3の合計30会員の加入がありました。

3. その他として以下の報告がありました。

- ①. 2012年度より、理事会、評議員会の議案を号区分し進行します。
- ②. 2012年1月末に「会計処理規則」に則り、事務局用パソコンを購入しました。
- ③. 岡山市環境保全審査会委員の交代の報告がありました。

〔協議・承認事項〕

1. 公益財団法人定款案を可決しました。
2. 公益財団法人諸規程・規則案（寄附金等取扱規程、維持会員に関する規程、評議員会運営規則、理事会運営規則、理事の職務権限規程、資産運用規程、事務局規程）を可決しました。
3. 公益財団法人移行に伴い、現規則（維持会員総会規則、評議員会規則、理事会規則、事務処理規則）を廃止することを可決しました。
4. 公益財団法人移行に伴い、現会計処理規則を廃止し、経理規程に変更することを可決しました。
5. 公益財団法人移行に伴い、現規程類（費用弁済規程、講師謝礼規程、報告書等取りまとめ費用の支給に関する規程、主催・共催・協賛・後援等に関する規程）を変更することを可決しました。
6. 公益財団法人移行に伴い、顧問委嘱規程を現財団法人のものと、公益財団法人のものをそれぞれ新設することを可決しました。
7. 現財団法人の役員改選を可決しました。また、公益財団法人移行後の評議員が選定委員会にて選任されたことを承認し、理事、監事、顧問、代表理事、業務執行理事の選任を可決しました。新役員は「役員等の資格、欠格事由」を確認の上、就任承諾書を3月中に提出することを確認しました。
8. 2012年度市民環境講座企画案を可決しました。
9. 2012年度ネットワークのつどい企画案を可決しました。
10. 2012年度体験プログラム『アマモ再生教室』～里親になってみよう！～企画案を可決しました。
11. 2012年度年間主要日程案を可決しました。
12. 公益法人認定申請の遊休資産対応として、現状の現金預金から年間事業費相当額以上を基本財産として定期預金とすることを可決しました。また、今後収支のバランスが悪くなった場合、これを取り崩すことを承認しました。
13. 2011年度事業報告と2012年度事業計画案を可決しました。
14. 2012年度予算案を可決しました。